



令和 5 年 3 月 10 日

自動車局車両基準・国際課

国連で第 189 回自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）を開催！**～日本が欧州以外の国として初めて副議長を務める～**

国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP.29^{*1}）は、令和 5 年 3 月 7 日から 9 日にかけて、スイス・ジュネーブにおいて本会議を開催しました。

WP.29 本会議は、日本代表の猶野 喬（なおの たかし）自動車局車両基準・国際課安全基準室長が欧州以外の国として初めて副議長を務め^{*2}、就任挨拶の中で、アジア諸国等の新興国の声も反映させる真にグローバルな会議体へ発展させるべく努める等の抱負を述べました。

我が国は、国連自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）において自動車の安全・環境性能にかかる国際基準の策定等に積極的に参画しており、これまで、WP.29 本会議傘下の分科会や専門家会議において、議長や副議長を務め、自動運転技術や運転支援技術のほか電動車にかかる国際基準策定等の議論をリードしてきました。こういった我が国の貢献が各国から認められたことにより、昨年 11 月に開催された WP.29 本会議において、本年（令和 5 年）の副議長として猶野 喬（なおの たかし）自動車局車両基準・国際課安全基準室長が欧州以外の国として初めて選出されました。

今般、本年最初の WP.29 本会議が 3 月 7 日から 9 日にかけてスイス・ジュネーブの国連欧州本部で開催され、日本政府代表の猶野室長は、WP.29 本会議副議長としての就任挨拶において、①アジア諸国等の新興国の声も反映させる真にグローバルな会議体への発展、②世界レベルでの交通安全とカーボンニュートラルへの一層の貢献、③子どもや高齢者を含むすべての人に公平な車両安全対策の推進、に努めたいと抱負を述べました。本会議は、エリオ議長（イタリア）と猶野副議長のリードにより進められ、1958 年協定に基づく国際基準（40 項目）の改正が合意されました。



（WP.29 副議長を務める猶野室長）



（WP.29 本会議の様子）

また、WP.29 本会議に合わせて開催された 1998 年協定に基づく執行委員会（AC.3）においては、猶野室長を本年の議長として選出^{*3}しました。今回の執行委員会において、猶野議長のリードにより、日本が米国と協力して進めている水素燃料電池自動車に適用する国際基準改正案（大型車向け要件の拡大等）について、次回 WP.29（本年 6 月）での投票への期待が示されるなど、日本が主導するものも含めた 1998 年協定に基づく国際基準（9 項目）の改正等の進捗状況について審議が行われました。

国土交通省としては、WP.29 において、積極的にプレゼンスを発揮しながら、日本の技術を反映した自動車基準の国際調和を推進して参ります。



（AC.3 議長を務める猶野室長）



（WP.29 が開催される国連欧州本部）

- *1 WP.29 は、自動車安全・環境基準の国際調和と認証の相互承認を多国間で審議する唯一の場であり、日本も積極的に参画。国連欧州経済委員会（UNECE）メンバー国（56 か国）のほか 1958 年協定及び 1998 年協定等の締約国が参加可能（WP.29 及び各協定の概要は別添参照）。
- *2 1952 年に国連の会議体（UNECE 車両構造作業部会）が設立され、その後 UNECE メンバー国以外も参加可能となり、自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）として設立。これまでは欧州のみが議長及び副議長を務めた。
- *3 1998 年協定に基づく執行委員会は、同協定の実施についての最高決定機関であり、平成 29 年及び 30 年（2017-2018）に日本が議長を務め、令和元年から令和 4 年（2019-2022）は副議長を務めた。

【参考資料】

- （別添 1）国連自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）の概要
- （別添 2）1958 年協定及び 1998 年協定の概要

【問い合わせ先】

自動車局 車両基準・国際課 山田、井島

代表：03-5253-8111（内線 42504、42524）